



舞ノ海が やってきた

11月5日 松尾商工会主催の「商工祭」で、舞ノ海による講演会、相撲指導、宝投げが行われた。



発行所
飯田市松尾公民館
編集人
松尾公民館広報委員会
印刷：龍共印刷(株)

新春号

探勝会 伝統の大鹿歌舞伎に大感激!!

『映画「大鹿村騒動記」の舞台、大鹿歌舞伎を見に行こう!!』をキャッチフレーズに、松尾公民館主催の探勝会が10月16日に行われた。国の選挙無形文化財であり映画の反響もあって、参加申込みは初日2時間で定員25人に達した。50から80代まで、約3分の2が女性であった。

当日は公民館を午前8時にバスで出発、9時半には大鹿村に到着。あいにく前日からの雨で、会場は市場神社境内から大鹿中学校体育館に変更されたが、約1500人の観客が集まった。



「おひねり」が飛ぶ舞台

この演題のあらすじや役者の紹介、観劇中の「おひねり投げ」や「掛け声のコツ」など初めての人もわかる豆冊子が前もって配布された。幕間では大鹿村交流センターみどり会の歌舞伎弁当に舌鼓を打った。「村の役者はすっごく良かった」

- ### 平成23年 こんな年でした
- 立川談志楼落語会で今年も公民館ホール超満員! (2月)
 - 東日本大震災、長野県北部地震発生 (3月)
 - まちづくり組織見直しが行われ、あたらしいまちづくり組織スタート (4月)
 - 「三六災50年を語り継ぐ」開催 (6月)
 - 「モデルロケットを飛ばそう!!」開催 (10月)
 - 松尾商工祭で舞ノ海さんが講演 (11月)
 - 鳩ヶ嶺八幡宮をライトアップ (11月)
 - 地域安全大会開催 (11月)

館長ひろみ

こんにちは角田です

11月6日、7日と「中越地震キトキト富山の旅」と題して、松尾まちづくり委員会の研修旅行で新潟県と富山県へ行ってきました。

7年前の中越地震の記録を残す「そなえ館」では、当時の震度6強を体験し、被災、避難状況を映像で観ることができました。改めて防災の必要性を知ると共に、人と人とのつながり、地域住民の「絆」がいかに大切かを感じさせられた1日目でした。

2日目に訪れた富山市エコタウン交流センターは、環境に優しい情報の発信拠点、市民、事業者、行政が一

「中越地震キトキト富山の旅」

体となって「循環型のまちづくり」を目指すエコタウン産業団地や、ゴムやプラ、木材などの廃材を再利用するための施設など、リサイクルの最先端を見て、飯田市の未来を見たような気がしました。信州ソバさながらの「新潟のへぎそば」を肴にしたお酒のおいしかったこと、とても充実した2日間の旅でした。

エコはニコ

楽しまなくちゃ

もったいない

富山環境川柳大賞作品より

松風

サラリーマンにとつて老後の生活に不安を感じる事の一つが年金問題だ。昨年秋、厚生労働省は社会保障と税の一体改革で年金の支給開始年齢の引き上げ案を示し、社会保障審議会で見直しが始まった。厚生年金は2025年までに60歳から65歳に段階的に引き上げることが決まっている。さらに68歳程度へ

延ばす案が出され、最も関心を集めた▼年金財源が悪化した理由は少子高齢化の進行にあるという。今は現役世代3人で高齢者1人を支えている。この社会現象が進めば支える側が少なくなっていくことになる。年金は保険料として納めた分は現在受け取る人に支払われる仕組みだ。年金を受け取る人より支払う人が少なくなれば、給付額が減るか負担額が増えていくことになる。▼結局、国は支給額を引き下げる案と非正規労働者の厚生年金への拡大案を検討することになりそう。あてにしていた年金が減額したり受け取り開始年齢が先に延びると頭に描いていた家計のやりくりも変わってくる。世代間格差の問題もある。将来安心して暮らすために年金制度はどうなっていくのだろうか。

松尾の人口

男子 6,007人
女子 6,633人
計 12,640人
世帯数 4,622世帯
11月末現在

区運動会 勢は上溝



ぞりゃ〜



フレー!フレー!



松尾小のスター、金管バンド



く、くるしい〜



赤勝て!白勝て!



ジャンプカは誰にも負けないわ



あふよと



マラソン ごくろっさ〜ん



ばぶつ



楽しいのお〜、ほんに〜



気迫で勝つぞ



つ、色男



ばぶつ



大福、うまいかも〜



あ、マラソンしてますんで



ぼっぼっ ぼくらはなわとび消防団!



はい、わたしたちが記録係です



ぶたっほしいよ〜



賞品係、「がんばったね おめでとう」



ラジオ体操いきま〜す



出発係は楽しいな



決勝係も楽しいな



宣誓〜



まけないで、もう少し

ふれあいひろば

▼高齢者交通安全教室

9月17日、松尾公民館ホールにおいて65歳以上対象の交通安全教室が行われ、134人が参加した。駐在所高見沢所長の話の後、安全のためのDVDと飯伊交通安全協会の河合専務による講話を聴いた。

▼天竜川美化活動

9月25日、天竜川美化活動が行われ、中学生50人を含む約150人が参加した。参加者は毛賀沢橋と弁天橋に分かれて清掃を開始し、松尾マレットゴルフ場で合流。その間のゴミを採取し分別を行った。

▼3地区合同女性バレーボール大会

9月25日、緑ヶ丘中学校区(松尾・竜丘・下久堅)の女性バレーボール大会が開催された。松尾地区から参加した区は、水城・代田・八幡町・新井・寺所・常盤台の6地区。松尾からの3位入賞は次のとおり。
Aブロック優勝・八幡町区
Bブロック2位・代田区
3位・新井区

▼松尾サイエンススクール

11月12日、松尾公民館ミニ体育館で松尾サイエンススクールが開かれ、小学生60人と大人10人が参加した。内容は、万華鏡作りとポン菓子作り。

敬老会と芸能祭

私たちの演技をぶつぎんぼで

9月から11月にかけて松尾各地区で敬老会と芸能祭が催された。いくつか紹介をしたい。

代田区

代田区獅子囃子保存会によるお囃子、獅子舞を皮切りに日頃活動をしているクラブの発表があった。今年松舞会の参加もあり佐渡おけさを披露し拍手喝采をあげていた。



松舞会による佐渡おけさ

上溝区





モデルロケットセット完了



子供達が喜びの声をあげてる



ほつ、晴れた...

10月9日 松尾地区 総合優勝



うーっす



松尾の女性ここにあり!!



けほつ



うりゃー!!



速い 速い!



おうーっ



30人31脚?



ヒー! イエローボールだ



さっ行くわよっ!! あ、まだ...!!



焼きそばつす



今年も来ました



名物男参上



ふう



よ



豚汁どうぞ~



うどん いかが~



健脚の見せどころだっ



やり~っ



レディファーストです



あわてて 大事だね...♡



角田館長「私は雨男ではありません」



年賀状募集!!
恒例の年賀状展が開催されます。1月7日までに松尾公民館(松尾城4012番地1)へ郵送または持参してください。面白い作品は市長賞など表彰されます。多くの作品をお待ちしています。

広報委員会からのお知らせ
●「平成23年度を予想しよう」について
昨年度の松尾地区文化祭におきまして、来場者の皆さんから投票いただいた「平成23年度を予想しよう」の結果を、文化祭(2月4日(土)~5日(日))で発表いたします。どうぞお楽しみに。
●まつお新聞が変わります
前号まで2ページだったまつお新聞を、今回の第217号から4ページに増やしました。さらに読みやすさを考え、文字を大きくしました。ご覧になったご意見や感想を、ぜひ松尾公民館までお寄せください。

お詫びと訂正
前号で紹介しました「職員の異動」について誤りがありました。保健師「鈴木友美」さんは正しくは「鈴木友子」さんです。訂正してお詫びいたします。

八幡区
特別ゲストのハナハウポリネシアンレビューのフラダンスを始め、チャイナドレスでの婦人部のダンス、はとみね座の水戸黄門漫遊記など、大歓声が巻き起こっていた。



恒例の芸能祭を楽しみながら上溝集会所の敷地で収穫をしたキウイがふるまわれ、お土産としても配られ参加者を喜ばせていた。



寺所区 獅子晴天に舞う

南信州獅子舞フェスティバルが10月23日、飯田市中央通りで行われ「寺所獅子舞保存会」が出演した。今年で第4回を迎え、23団体が出演、おのおのの自慢の舞を披露した。



寺所の獅子頭は更新が予定されている。百余年受け継がれてきた現在の頭を披露する機会はこの最後になるかもしれないと、舞手をはじめ松林獅子にも気合が入っていた。獅子は6カ所で優雅に舞い、合間には観光客との記念撮影や談話などに花を咲かせていた。名古屋から観光で訪れた男性は「この獅子舞の色合いや幌も深みがある。藍染めで一番気に入った」と感心していた。

「古墳めぐり」

尾松探検隊

10月23日に松尾史学会と公民館共催による松尾探検隊「古墳めぐり」が行われた。参加者16人が現存古墳の妙前・大石古墳群のうち、13カ所を前史学会会長の清水秀人さんの説明を受けながら見て回った。昔は古墳が子供の遊び場だったことや、県宝に指定された眉庇付冑の出土などの話を聞き、また歴史的文化遺産



古墳の説明を受ける参加者

の状況も知ることができた。各古墳群は、当時の原型を残しておらず現在は畑や庭となったり、家が建てられていたりする。所有者は、「昔は大きかったが畑を耕したりして小さくなつてしまった。石垣を撤去してしまい、古墳と知っていれば」と残念がっていた。参加者から、「妙前・大石古墳群パークを作るといい」と話した。また、清水さんは、「今回は子供さんが4人も参加してくれて嬉しい。将来は学者になってもらいたい」と話した。

まけるな園 農

今年も豊作

10月29日、まけるな農園では、サツマイモ、落花生、ポップコーンとうもろこしの収穫祭を行った。収穫作業には幼児や小学生・保護者など50人が集まり、10人の公民館スタッフも参加した。



だれか手伝って!

まずは、サツマイモ。土の中から顔より大きな芋を掘り出したり、沢山の連なつた芋が顔を出したりすると大きな歓声が上がった。今年から作り始めた落花生。茎から豆のツルが出て土にもぐり、土の中で実がなる。子供たちは、手で引き抜いた根のように見える枝の先

5年生がロケット作り 見えなくなるまでとんだよ

まちづくり委員会青少年育成会の主催で10月11日松尾小学校5年生約150人がモデルロケット製作を行った。5クラスが午前と午後3班に分かれ、育成会会員と、この日応援に駆け付けた南信州飯田おもしろ科学工房スタッフや松尾サイエンスのスタッフに指導を受けながら作業した。



スイッチオン 発射!

製作前に松尾サイエンス代表の三浦宏子さんがモデルロケットの原理について説明すると、児童からは「これで宇宙に行けるの?」という質問も飛び出した。完成するといよいよ校庭で打ち上げ。カウントダウンに合わせスイッチを押すとロケットは勢いよく発射され空に吸い込まれていった。「やったあ」落下傘が開きゆっくり落ちてくるロケットを拾いに行く児童。校庭中が歓喜の声であふれていた。自らも発射のスイッチを押した北沢彰利校長は「よい体験ができた。来年度につなげていきたい」と話していた。

久井区 多彩な趣味作品一堂に

芸能祭と隔年で実施している久井区文化祭は、11月12・13日に開催され、両日で130人以上の区民が訪れた。会場の集会所入口では中学3年生の高山希心さん筆による「久井区文化祭」の大看板が来場者を迎えたほか、随所に花が飾られるなど、皆で盛り上げようという意気込みが感じられた。



展示会場には書、絵画、写真、生花、手芸作品など、個人44人、趣味のグループ10団体による力作が並び、鑑賞した人たちは、常連の秀作にはもちろん、思わぬ家族連れが多く来てくれて良かったと話した。休憩所での手作りおやつ「鬼まんじゅう」漬物のサーブスや、農産物の販売コーナーも人気を呼んだ。

新井区 例大祭年番を終えて

新井区は鳩ヶ嶺八幡宮秋季例大祭の祭事を司る年番区を無事に終え、10月22日各地区の役員を招集し、JA松尾支所にて実行委員会の反省会を行った。冒頭のあいさつで、常盤昭治委員長は「昨年水城から引き継ぎを受け、御神田の御田植や注連縄奉納など経て煙火や警備計画を立て、祭りが滞りなく行われるように、1年以上にわたり活動して



三国の無事を見守る警備部員たち

まいりました。皆さんのご尽力のおかげで事故もなく無事に今日を迎えられましたことを厚く御礼申し上げます」と述べた。例大祭開催に当たっては、今年3月11日の東日本大震災を受け、年番区として一時は中止も考えたというが、復興を願う区民が丸となって行おうべきだという意見が強く、開催という方向に決まったそうだ。実際に、奉納煙火の題目については復興に向けたものが多く見られた。実行委員会の総務部を担当した西川和憲さんは「落ち度が無いようにと綿密な計画を立てていくことは大変なことだったが、皆がそれぞれにがんばってくれたからできたんだと思う。今回の記録を11年後に伝えていきたい」と安堵した面持ちで話していた。委員らも同じ思いなのだろう。皆笑顔で労をねぎらっていた。